

2019 年度 事業計画

施設名 玉堤つどいの家

1 利用状況

事業種別： 生活介護 定員 13人 利用者数 13人

(1) 障害支援区分

区分6	11人	区分5	2人	区分4	0人
区分3以下	0人	計		13人	

(2) 障害の程度

		身体障害者手帳				計
		1級	2級	3~7級	なし	
愛 の 手 帳	1度					0人
	2度	4人				4人
	3~4度					0人
	なし	8人	1人			7人
計		12人	1人	0人	0人	13人

(3) 年齢、性別

10代以下	0人	40代	4人
20代	3人	50代	3人
30代	3人	60代以上	0人
計		13人	

男性	7人
女性	6人
計	13人

2 事業実施状況

(1) 活動・支援の内容

概要

身体障害者生活介護事業

障害者総合支援法施行規則第二条の四に規定する、入浴、排せつ及び食事等の介護、創作的活動又は生産活動の機会の提供その他必要な援助を要する障害者であつて、常時介護を要するものにつき、主として日中において、入浴、排せつ及び食事等の介護、調理、洗濯及び掃除等の家事並びに生活等に関する相談及び助言その他の必要な日常生活上の支援、創作的活動又は生産活動の機会の提供その他の身体機能又は生活能力の向上のために必要な援助を行う。

4月 さくらまつり、男性健診、合同防災教室
5月 日帰りレク、女性健診
6月 アート展見学、ボラ交流会
7月 保護者会
8月
9月 玉川福祉フェスティバル

10月 秋のバス外出、保護者会、宿泊訓練旅行
11月 防災訓練
12月 X'mas会、感染症対策訓練、忘年会、ボラ交流会
1月 新年会、初詣
2月 東/玉交流会、来年度の話合い
3月 保護者会、春のバス外出、納会

*体重測定(月1回火曜日)実施 *ボランティア・実習生・夏ボラ(7~8月)・介護体験等、随時受け入れ
*全体調理→5~11月のみ毎月実施、誕生会→4・9月を除く毎月実施

*1日の基本プログラム

9:30	利用者来所 (バイタルチェック、水分補給、トイレ)
10:15	朝の会
10:30	日中活動 (11時水分補給)
11:30	トイレ・口腔体操・食事準備
12:00	昼食・歯磨き・トイレ
13:00	昼休み
14:00	選択活動
14:30	帰りの会・水分補給・トイレ・帰宅準備
15:30	利用者バス乗車 (1号・2号) /帰宅

*日中活動内容

・染め	動物の図柄や物体の型抜きを使ってデザインし、布を染めてゆく。染めた布を使って、コースターやランチョンマット、巾着袋に商品化。
・マーブリング	水を張ったパレットに数種類の染料を落とし、そこに用紙を浮かせると幾何学的な模様がつく。模様の付いた紙を裁断し、ポチ袋に商品化。
・音楽療法	音楽療法士による療法(月1回)とカラオケ(月1回)を実施。
・COM	コミュニケーション活動として各自、意思の疎通をはかる練習。
・委員会	広報では、機関誌の企画会議や印刷作業、折りや封入作業を分担し毎月発行。美化では、施設内の整理・清掃活動。消耗品などの在庫チェック。
・フリー	事前に各自の希望を挙げて、パソコン、散歩、TV視聴、担当メニュー考案などを実施。
・選択活動	主に休憩をされる方が多いが、他に座談会、音楽鑑賞、ゲーム(トランプ等)なども実施。
・アート	アート展への出展作品を中心に、テーマに沿った作品を制作する。
・映画会	誕生日月の利用者が希望した映画を上映し、みんなで映画鑑賞を楽しむ。

(2) 地域交流

事業所設立以来、築き上げてきた町会組織「玉堤支え合いの会」との協力関係を継続するとともに、当該団体のボランティアによる、アート展見学や初詣、防災訓練など地域行事の協力を引き続き得ていく。また、地域古着回収活動に関する場所(正面駐車場)の提供を行う。玉堤小バザーでの、車椅子体験会開催への協力・参加に加え、玉川福祉フェスティバルやふれあいフェスタ等への出店参加を予定している。田園調布学園・セントメリー学園などの小中高生との交流会も引き続き実施する。

(3) 家族、関係機関との連携等

年に3回、保護者会を開催する。また保護者会以外でも、新年会、クリスマス会等、保護者が関わり、参加出来るような催し物を開催し、保護者の皆様の日頃の支援や協力への感謝を伝え、利用者の様子を実際に見ていただいたり、利用者とともに楽しい時間を共有していただく機会とする。相談支援関連のモニタリングの為に場所と情報を提供する等、関係機関との支援の連携を図っていく。利用者が短期入所・緊急入所・自立体験等実施する場合の当該施設やグループホームとも情報共有等連携を図っていく。

(4) ボランティアや実習生の受入れ

夏のボランティア体験(夏ボラ)、介護等体験生(教職員養成課程)、玉川聖学院、田園調布学園、セントメリー学園(年2回)、玉堤小車椅子体験会、光明学園、その他近隣の方の個別受け入れを予定しており、人との幅広いつながりを持つ。

(5) 危機管理

防災訓練(建物内全体、施設単独)、玉川消防署協力による応急救護訓練、避難訓練を実施する。災害時の備品類の備蓄の充実をはかる。感染症予防訓練(ノロ・インフル発症時の動き、利用者・職員の予防接種、各種衛生用品補充強化)を実施して、緊急時に備える。

(6) 職員研修の実施

法人内での職員全体研修(2回前後)に常勤職員参加予定。ただし内容の詳細については未定。また、新人研修や今年度新設のメンタルヘルスケアの研修等も実施。

3 重点課題と取り組み

2019年度は以下の点を重点課題として取り組む。

① 活動や行動の見直し・拡充

利用者の身体機能の低下や体力低下の現状を踏まえつつ、サービスの質を落とさず、新たな活動や行事を考案し、日中生活の場としての意義を高める。また、移動水族館や移動動物園の召喚、ボランティア団体・学校関係等の団体による慈善活動(演劇やレクリエーション)の受け入れ、自立している障害者による自立生活講演会(なかまっち研修会)の実施、全体調理のない月の活動等、今までのやり方にとらわれず柔軟に様々な活動や行事を工夫して実施していく。

② 感染症対策・環境保持の継続

調理活動時の衛生管理の徹底や見直し、細菌検査・感染症対策訓練の実施、衛生保持設備の充実等、利用者が安全・安心してすごせる環境の整備・維持に引き続き努める。各部屋の建物管理者が中心となって、設備の不備・故障に迅速に対応し、それぞれ利用するスペースのさらなる安全確保や環境改善に努める。

② 防災対策

大規模災害発生時の帰宅困難を想定し、事業所での宿泊訓練を初めて実施する。非常用の毛布・寝袋・非常食・簡易トイレなどの備品類の在庫を見直す機会とし、寄付金を活用しながら不十分な点は順次充足していくよう努める。また、施設に宿泊しなければならない事態に備え、利用者・職員とも普段から防災への意識・知識を高めていく。